



阪急バス 定期券の旅

ふちんかん

阪急バスの神定期

以前の[アラカン新生活](#)でお伝えしたが、阪急バスの hanica 定期券は額面式である。額面以内の範囲ならどこでも利用できる。しかも同グループの阪神バスにも乗車できるので、けっこうな範囲で利用できる。



私は最寄りのターミナルである川西能勢口
・川西池田駅へのアクセスに日常的に利用している。

阪急バスの旅

そしてこの機会にと思い、(阪急)バスの旅を月一くらいのペースで企画している。区間によっては額面を超える区間もあるのだが、土日祝日の場合は、「環境おでかけ割」という制度を利用し1000円で乗車できる。

昨年4月からこれまでのバス旅を改めて一覧にしてみた。

回	時期	タイトル	概要
1	202304	南千里から豊中	花見からの帰り道 これはついでに利用しただけなので企画性はないのだが、自身のルーツを辿る行程だったので、ブログに書いてみた。
2	202305	有馬・裏六甲	宝塚から有馬、そして三宮へ。さらに阪神バスで尼崎へ。六甲山東をぐるりと巡ってみた。
3	202305	吹田・園田へ	W B F の後に豊中市南部周辺を巡ってみた。まず吹田へ。そして園田へ。阪神バスで猪名寺へ。
4	202306	能勢	豊中センター前へ。汐の湯温泉には入れなかったけど、道の駅・能勢に行った。ジェラートうまー。
5	202306	芦屋ハイランド	六甲山中腹の奥池へ。超高級住宅街を散策した。
6	202307	西宮浜	夏らしく海辺へ。貝類館へも立ち寄った。
7	202310	廃止路線へ	11月に廃止になる4路線に乗ってきた。 空港宝塚線・三宮有馬線・豊中西宮線・阪北線



身近な乗り物



8	202312	余野から茨木市へ	茨木市の山中を走る長距離路線に乗る。 さらに茨木市・摂津市の淀川右岸を巡る旅。
9	202312	能勢・口山内	平日のみ1日3本しかない能勢の口山内行きのバス。
10	202402	宝塚北（西谷地区）	宝塚北部の西谷地区の全路線を巡る旅。さらに平日のみ1往復の日生中央便も追加で乗ってみた。
11	202404	鳴尾浜	阪神バス主体の行程。 宝塚→甲子園→鳴尾浜→武庫川団地
12	202405	北神戸	鈴蘭台を中心とする北神戸地区を巡る旅。
13	202408	長岡京周辺	長岡京周辺に広がる阪急バス網を巡る旅。向日市・長岡京市・島本町と広範囲かつ路線も多いので、2日に分けて訪問した（それでも1路線未乗）。

鉄道の旅と比較して

1. 駐車場の間隔が狭い

鉄道の駅間がだいたい1～4kmごとに設置されているのに対し、バス停の間隔は300m～500mが基準とされている。短い間隔で停車することによりスピードも上がらず大きな移動にはなりにくい。狭い範囲で丹念に拾っていく感じの旅となる。鉄道よりも生活に密着していることと、観光とは縁遠い路線がほとんどで、それゆえに「余所者」感を半端なく感じることがある。

2. 鉄路という縛りが無い

自由に路線を描くことができる一方、需要が少なければ廃止も容易である。いま乗客数の減少に加え、ドライバー不足の問題がからみ、バス路線は縮小している一方である。

また旅行者としては、紙ベースの時刻表が無く、路線図だけではどのようなルートを進むか分からないことがある。また時間帯や曜日のよる細かいルート設定もあり、全路線踏破しようなんて考えるとけっこう疲れる。

途中下車をしても何も無いところがほとんどである（終着でもバス停の標識しか無いところもある）。それゆえに事前の調査や目的意識が大事になってくる。一方、無計画で徒手空拳の旅も、何かの発見の喜びもあろうかとおもう。

どちらにしてもせつかく安上がりな旅の舞台は用意してもらっているのだから、これからは準備なりその場を楽しむ心意気をもって小さな旅を続けたいと思う。